

1 がんにならない取組みの推進(構成事業1~7) 7本 ☆☆☆☆

構成事業名	第1次評価	第2次評価(事務局案)
中柱① 生活習慣改善の推進		
1 かながわ健康プラン21(第2次)の推進	☆☆☆☆☆	良好な取組み状況である。 「かながわ健康プラン21(第2次)の推進」を中心に、着実に事業が進められている。
2 (公財)かながわ健康財団によるのがん征圧推進事業	☆☆☆	
中柱② たばこ対策の推進		
3 卒煙(禁煙)サポート	☆☆☆☆	良好な取組状況である。 幅広い年代に対して、それぞれの年代に応じた各種セミナーや研修会等が実施され、着実に事業が進められているが、受動喫煙防止対策については、今後の国の動向を注視し、県としての施策を検討することが求められる。
4 未成年者の喫煙防止対策	☆☆☆☆☆	
5 受動喫煙防止対策	☆☆☆☆☆	
中柱③ 発がんに関わるウイルス等の感染に対する予防		
6 子宮頸がん予防ワクチンの接種にかかる普及啓発		概ね良好な取組状況である。 「子宮頸がん予防ワクチンの接種にかかる普及啓発」については、今後も国の動向を注視し、県としての施策を検討することが求められる。
7 肝炎対策	☆☆☆☆	

2 がんの早期発見(構成事業8~14) 7本 ☆☆☆

構成事業名	第1次評価	第2次評価(事務局案)
中柱① がん検診の受診促進		
8 地域・職域が連携したがん検診の受診促進	☆☆☆☆	良好な取組状況である。 平成28年度国民生活基礎調査の結果で、がん検診受診率が5つのがん検診全てにおいて前回調査時から増加していることは評価に値する。県計画で目標に掲げている受診率に達していないがん種もあるため、引き続き取組みを推進してもらいたい。
9 がん体験者と連携したがん検診の受診促進	☆☆☆☆	
10 効果的ながん検診の受診勧奨	☆☆☆☆	
中柱② がん検診の精度向上		
11 がん検診従事者の人材育成等	☆☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 市町村がん検診の事業評価で、概ね国の許容値を満たしているが、精密検査の受診率など伸び悩む項目もあるため、市町村に対する個別指導の実施も含め、一層の取組みが必要である。
12 がん診療連携拠点病院におけるがん早期診断に向けた研修	☆☆☆☆	
13 生活習慣病対策委員会「がん・循環器病対策部会」がん分科会等における検診	☆☆☆	
14 精密検査受診の促進	☆☆☆	

3 がん医療の提供(構成事業15～41) 27本 ☆☆☆

構成事業名	第1次評価	第2次評価(事務局案)
(1)がん診療連携拠点病院を中心としたがん医療の充実		
中柱① 県立がんセンターの総合整備及び取組み		
15 がん診療の中核病院としての高度ながん医療の提供		<p>良好な取組状況である。</p> <p>がん診療連携協議会において、新たながん薬物療法部会を設置し、緩和ケア部会ではピュアレビューを開始するなど、着実に事業が進められている。</p>
16 重粒子線治療の開始	☆☆☆☆☆	
17 患者に優しい医療・療養環境の提供		
18 県がん診療連携協議会の開催	☆☆☆☆	
19 漢方外来の充実	☆☆☆☆	
中柱② がん診療連携拠点病院等によるがん医療の提供		
20 がん診療連携拠点病院を中心としたがん診療の提供	☆☆☆☆	<p>概ね良好な取組状況である。</p> <p>今までがん診療連携拠点病院しかなかった医療圏に、新たな県がん診療連携指定病院が指定されるなど、着実に事業が進められている。</p>
21 県がん診療連携指定病院の整備	☆☆☆	
22 がん診療連携拠点病院等による医療従事者の人材育成	☆☆☆☆	
23 希少がんへの取組み	☆☆☆	
中柱③ チーム医療の推進		
24 チーム医療の推進	☆☆☆☆	<p>良好な取組状況である。</p> <p>院内クリティカルパスやがんボードが整備され、チーム医療の推進体制が構築されている。</p>
中柱④ 小児がん医療の充実		
25 小児がん医療の充実	☆☆☆☆	<p>良好な取組状況である。</p> <p>県立こども医療センターに設置された「県地域小児がん医療提供体制協議会」において相談支援部会が開催されるなど、着実に事業が進められている。</p>
中柱⑤ がん医療における生活の質(QOL)の向上と漢方診療の活用		
26 がん医療における生活の質(QOL)の向上と漢方診療の活用	☆☆☆☆	<p>良好な取組状況である。</p> <p>県立がんセンターに漢方サポートセンターが設置されたが、がんセンター以外の拠点病院・指定病院における漢方の活用は積極的とは言えないことから、課題を整理する必要がある。</p>
中柱⑥ がん研究の推進		
27 がん研究の推進	☆☆☆☆☆	<p>良好な取組状況である。</p> <p>県立がんセンターにおいて「がんワクチンセンター」を運営するなど、着実に事業が進められている。</p>

構成事業名	第1次評価	第2次評価(事務局案)
中柱⑦ がん登録の推進		
28 院内がん登録の精度向上	☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 地域がん登録データの活用施策については、今後の検討が必要である。
29 地域がん登録の精度向上	☆☆☆☆	
30 地域がん登録データの活用の検討	☆☆☆	
(2)地域における連携・協働の推進		
中柱① がん診療連携拠点病院等による地域連携		
31 病院間及び病院・診療所間の連携	☆☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 がん診療連携拠点病院等における医科歯科連携の必要性は、確実に周知されてきている。
32 医科と歯科との連携	☆☆☆	
中柱② 在宅医療の推進		
33 医療と介護の連携	☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 施設医療から在宅医療への転換が促進される中、訪問看護師等の資質向上・人材育成が重要であり、一層の取組みが求められる。
34 医科と歯科との連携	☆☆☆	
中柱③ がん地域連携クリティカルパスによる連携		
35 がん地域連携クリティカルパスによる連携	☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 地域の状況に応じた取組みについて検討していく必要がある。
(3)がんと診断されたときからの緩和ケアの推進		
中柱① 緩和ケアの充実		
36 緩和ケアの提供体制の充実	☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 「緩和ケア病棟の整備」については、今まで未整備だった県央医療圏において、平成29年、東名厚木病院が緩和ケア病棟を整備したほか、現在唯一未整備の川崎北部医療圏においても、現在建設中の病院があり、着実に進められている。
37 精神心理的・社会的苦痛等に対する適切な緩和ケアの提供	☆☆☆	
38 緩和ケア病棟の整備	☆☆☆	
39 緩和ケアに対する理解の促進	☆☆☆	
中柱② 緩和ケア人材の育成		
40 緩和ケア人材の育成	☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 各がん診療連携拠点病院の緩和ケア研修受講率向上の取組みなど、良好に進展している。
中柱③ 在宅緩和ケアの推進		
41 在宅緩和ケアの推進	☆☆☆	概ね良好な取組状況である。 がん診療連携拠点病院等で実施する緩和ケア研修会に地域の医療機関からの参加者も増えており、受講勧奨も行われていることから、引き続きの取組みが必要である。

4 がん患者への支援(構成事業42～51) 10本 ☆☆☆☆

構成事業名	第1次評価	第2次評価(事務局案)
中柱① がん診療連携拠点病院等における相談支援の実施		
42 相談支援センターの充実	☆☆☆☆	良好な取り組み状況である。 がん診療連携協議会の相談支援部会での研修などにより、人材育成は着実に進められている。
43 拠点病院等による相談人材の育成	☆☆☆☆	
44 ピアサポートによる相談支援の充実	☆☆☆☆☆	
中柱② がん患者及びその家族に対する情報提供		
45 相談支援センターにおける情報提供	☆☆☆☆	良好な取組状況である。
46 県ホームページを活用した情報提供	☆☆☆☆	県作成のリーフレットや冊子を相談支援センターで配架するなど、情報提供は着実に進められている。
中柱③ がん患者団体等との連携協力体制の充実強化		
47 がん患者団体等への情報提供	☆☆☆☆	良好な取組状況である。 県のがん患者登録団体から、企業セミナーの講師を紹介してもらうなど、連携が図られており、着実に進められている。
48 がん患者等への情報提供	☆☆☆☆	
49 がん患者団体等との協働の検討	☆☆☆☆	
中柱④ がん患者等に対する就労支援及び職場・医療機関の理解の促進		
50 相談支援センターにおける相談支援体制の充実	☆☆☆☆☆	良好な取組状況である。
51 事業者及び医療従事者への継続就労に向けた普及啓発	☆☆☆☆	社会保険労務士による定期相談を、病院の自主事業として継続でき、相談件数も増えていることは、評価に値する。

5 がんに対する理解の促進(構成事業52・53) 2本 ☆☆☆☆

構成事業名	第1次評価	第2次評価(事務局案)
中柱① がん教育の推進		
52 がん教育の推進	☆☆☆☆	良好な取組状況である。 平成29年度は、当課作成の教材を活用した、外部講師によるモデル授業を、県内6校の小・中・高校で実施した。がん教育協議会を2回開催し、モデル授業の評価や外部講師の活用について検討を行った。ただ、平成30年度に向けての体制づくりが十分とは言えない。
中柱② がんに関する知識の普及啓発		
53 がんに関する知識の普及啓発	☆☆☆☆	良好な取組状況である。 県のたよりや県のホームページ、リーフレット等で、行っている。